

科目名称	精神看護援助論 (ケアの方法論)
授業コード	BK252
英語名称	
学期	2024年度後期
単位	2.0
担当教員	宮城 純子, 及川 江利奈, 板橋 直人
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	<p>精神看護学の考え方、精神の健康と障害について行動科学、社会学的視点からの基本的理解を通して、精神看護学の基盤となる患者－看護師関係、精神看護学倫理、日本におけるメンタルヘルスの現状や福祉に関する現状について学ぶとともに、今後の課題について考察する。</p> <p>精神看護学概論で得た知識を基礎に、この科目でさらに精神看護における基礎的知識を重ねて得た後、セルフケアに関するアセスメントスキルを修得します。他者との協調・協働などのチームワーク力を高めます。</p>
科目に関連する実務経験と授業への活用	<p>本科目では、精神看護領域において看護師としての臨床経験のある教員およびそれぞれの専門領域をもつ実務経験のある非常勤講師が講義・演習を行います。</p>
到達目標	<p>本科目では、ディプロマポリシーの「科学的な根拠に基づき対象者の健康と生活の質を高める看護を実践するための論理的思考力、基本的な問題解決能力を修得できる」「地域で暮らす人々の多様な文化、生活背景、価値観を尊重し個人・家族および地域の健康レベルに応じた地域包括ケアを実践する基礎的能力を有している」ことを達成するために、以下の3項を到達目標とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神保健の基本的な考え方および現代社会のメンタルヘルスについて知識を獲得する。</li> <li>2. 精神看護学や看護学の基礎となる人間理解のための知識の統合ができる。</li> <li>3. 自分と他者との相違点を理解し、他者が置かれている立場を理解する。</li> </ol>
計画・内容	<p>第1回【オリエンテーション】司法精神看護 担当：宮城（看護師）</p> <p>第2回【精神疾患の理解と看護】1.統合失調症の理解と看護 担当：板橋（看護師）</p> <p>第3回【精神疾患の理解と看護】2.双極性障害の理解と看護 担当：板橋（看護師）</p> <p>第4回【精神疾患の理解と看護】3.パーソナリティ障害・摂食障害の理解と看護 担当：及川（看護師）</p> <p>第5回【精神疾患の理解と看護】4.パニック障害・強迫症の理解と看護 担当：板橋（看護師）</p> <p>第6回【精神疾患の理解と看護】5.精神科での身体ケア 担当：宮城（看護師）</p> <p>第7回【精神疾患の理解と看護】6.依存症の理解と看護 担当：宮城（看護師）</p>

計画・内容	<p>第8回【当事者の体験】1. アルコール依存症当事者の体験（依存症当事者） 担当：板橋（看護師）・依存症当事者</p> <p>第9回【地域生活と看護】2. 精神科リハビリテーション（総論・地域生活） 担当：及川（看護師）</p> <p>第10回【地域生活と看護】3. 就労支援と支援方法 担当：及川（看護師）</p> <p>第11回【精神科における看護理論】1. オレムアンダーウッドのセルフケアモデル 担当：板橋（看護師）</p> <p>第12回【セルフケア理論を用いた事例の検討】個人ワーク 担当：板橋（看護師）</p> <p>第13回【当事者の体験】精神障害者をもつ家族の体験（当事者家族） 担当：板橋（看護師）・家族会に所属するご家族</p> <p>第14回【地域生活と看護】4. 精神科訪問看護 担当：宮城（看護師）</p> <p>第15回【セルフケア理論を用いた事例の検討】事例検討解説 担当：板橋（看護師）</p>
授業の進め方	<p>基本的に3部構成で組み立て進めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的精神看護に関する講義 ：視覚教材を用いることもあります。</li> <li>2. 演習 ：事例を用いて、精神科でよく使われるセルフケアモデルとアセスメントについて深めます。</li> <li>3. 当事者の社会参加活動の紹介 ：講義・演習を通じて、学生に発表を求める機会もあります。</li> </ol>
能動的な学びの実施	事例を用いた「セルフケアのアセスメント」は、学びを活用して、自らの積極的な学習を期待します。
授業時間外の学修	<p>合計30時間程度</p> <p>【予習】教科書の巻・章を提示してある回は、熟読してください 別途指示のある回：それに従ってください。 指示のない回：タイトルまたはキーワードを基にテキストを読んでください。</p> <p>【復習】配布資料や授業中に書き留めたメモをまとめ、ノートを作成してください。</p>
教科書・参考書	<p>【教科書】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神看護学 精神保健・多職種のつながり 南江堂</li> <li>2. 精神看護学 臨床で活かすケア 南江堂</li> </ol> <p>【参考書】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護実践のための根拠がわかる精神看護技術 メヂカルフレンド社</li> <li>2. 系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 医学書院</li> </ol>
成績評価方法と基準	<p>成績評価は、到達目標に記載した内容の理解度によります。</p> <p>リフレクションシートには、学んだこと、疑問に感じたこと、自分の学びに関する課題などを記載してください。（記載内容が、講義内容にに応じているかどうかの確認により、出席の確認も兼ねます）</p> <p>【成績評価方法と基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 筆記試験 : 80点</li> <li>2. レポート : 20点</li> </ol>

成績評価方法と基準	
課題等に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「リフレクションシート」の記載内容は、次回の授業時に反映します。</li> <li>・大学から割り当てられた学籍番号のメールアドレスにフィードバックを送る場合もあります。</li> <li>・後日、別途資料を配布する場合もあります。</li> </ul>
オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Campus Square 参照</li> <li>・ 質問などをメールにて受けます。</li> </ul>
留意事項	<p>先行履修科目を、2年前期「精神看護学概論」とします。</p> <p>疾患に関する周辺領域（治療学など）は、3年前期「病態治療学」で履修しますので、治療に関わる部分は予習が重要になります。</p> <p>援助技術に関することは、3年前期「精神看護援助論」につながっていきます。</p> <p>精神看護学における患者理解と看護方法を学び、精神看護の知識の修得を目指します。</p>
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p><b>【授業の進め方】</b></p> <p>原則として、シラバス通りに進めます。</p> <p>方法は、ZoomによるOn Timeでの対応とします。</p> <p>入室時「学籍番号 氏名」を画面に出してください。</p> <p>入室後チャットに「学籍番号 氏名」を記入してください。</p> <p>講義中、時々画面に顔を出すことを依頼する場合があります。</p> <p>リフレクションシートの提出は、Campus Square にUPとします。</p> <p><b>【成績評価の方法と基準】</b></p> <p>(1) 筆記試験：Campus Squareを用い、Forms もしくは、紙媒体・電子媒体に回答したものをCampus Square にUPする方法をとる予定です。</p> <p>(2) レポート提出：変更の予定はありません。</p>